

第 2 回 BIM/CIM 推進委員会 議 事 要 旨

1. 開催日時 : 平成 31 年 4 月 23 日 (火) 10:00~12:00
2. 場所 : 中央合同庁舎 3 号館 11 階 特別会議室
3. 議事
 - ①規約の変更について
 - ②これまでの取り組みへの対応について
 - ③平成 30 年度の WG における検討について
 - ④平成 31 年度の主な取組について
 - ⑤建築 BIM 推進会議 (仮称) の設置について
 - ⑥今後のスケジュール

主な議論の概要は以下のとおり

- 「基準・要領等の整備対象とその関係」について、施工までの作りになっているため、維持管理まで繋がるプロセスを意識した作りをしていただきたい。
- 「CIM 導入ガイドライン (案)」地すべり編については、新たに追加した機構解析モデルを含め、“見守り CIM”としてフォローアップしていただきたい。
- 下水道に関しては、基礎自治体の事業なので、是非、ガイドラインの理解や実施体制の面でワーキングによる支援体制を考えて欲しい。
- 「3次元モデル表記標準 (案)」のアノテーションについては、現状、ソフトウェアに依存したバラツキが大きいため、ソフトウェアベンダーを含め、望ましい図面のあり方を検討し検討していただきたい。
- BIM/CIM の成果品として納品する LandXML データは、国際標準の LandXML を一部拡張した国総研制定の要領に基づいた LandXML データであることから、混同を避けるため、名称を「J-LandXML」としてはどうか。
- BIM/CIM に関する運営体制 (案) について、建築分野の検討 WG 新設にあたっては建築の学識経験者や関係学会も多く含めて議論を行える体制としていただきたい。
- 設計者、施工者が BIM/CIM に取り組む際には、確実なインセンティブがあることで競争が生まれ、技術力が向上するので、その観点でロードマップを整備していただきたい。
- モデル事業の実施にあたっては、発注者が明確な意図を持って BIM/CIM を実施し成果をあげられるような体制について、第三者を含めた委員会など、発注者を支援できる仕組みを検討していただきたい。

- ロードマップ案について、検討項目、目標、実施内容を議論し、今年度中に確定されたロードマップとして示していただきたい。
- 3次元データの利活用によって「公共事業はこれだけ変わるんだ」とインパクトある打ち出しをしていただきたい。
- 各プロセスがシームレスに繋がることを重視し、現時点での各プロセス間を跨ったデータ利用を行った際の課題抽出・整理を行っていただきたい。
- BIM/CIM の利活用を進めることにより、現行の施工パッケージ方式を見直す必要が生じると思われるため、新たな積算方式を検討していくことは重要である。
- ロードマップ案は、横方向の時系列の流れのみならず、縦方向の関連する項目間の相互関係も見える作りにしていただきたい。
- 2次元での構造計算結果を図化した3次元モデル作成ではなく、3次元モデルを用いた構造計算について、可能なところから検討を行っていただきたい。
- 建築 BIM は土木分野とのすり合わせもしながら活動していただきたい。
- 国土交通省の管轄する様々なインフラ（鉄道や空港）を BIM/CIM の対象としていただきたい。

以 上